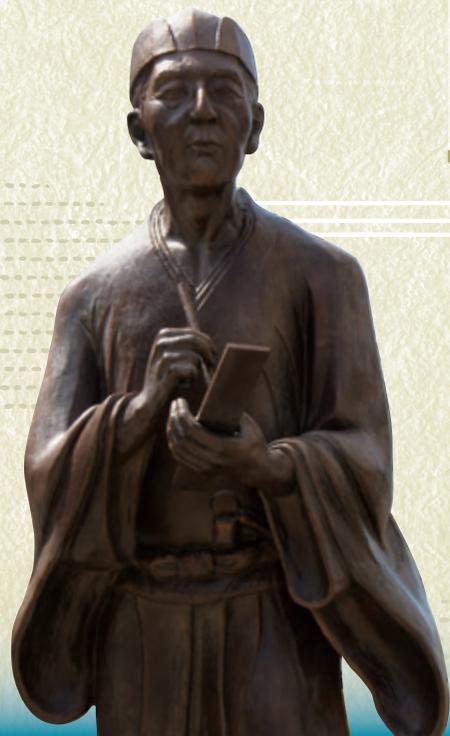


# 受賞作品集

## フォト俳句コンテスト

俳句のまち  
あらかわ

令和七年度



主催／荒川区  
後援／俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会

発行 令和八年三月  
発行者 荒川区

荒川区荒川2-2-13  
TEL 031380214689

～荒川区は俳句のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています～

登録(07)0110号

## 実施概要

松尾芭蕉や正岡子規などが多くの俳句を詠み、区内各地に句碑が建立されている俳句ゆかりの地である荒川区は、「俳句のまちあらかわ」として、俳句文化の裾野を広げる活動に取り組んでいます。今回、この取り組みの一環として、「俳句」と「写真」を組み合わせた「俳句のまちあらかわフォト俳句コンテスト」を実施し、区内外から合わせて1154句の素晴らしい作品が集まりました。

### 【募集期間】

令和7年10月1日(水)～令和8年1月9日(金)

### 【部門】

一般の部、こどもの部(小学生以下)

※荒川区の風景

課題写真の部

### 【各賞】

・一般の部、こどもの部

それぞれ特選3句・入選6句・佳作9句

・課題写真の部 入選20句

## 選者



対馬 康子氏  
俳人  
現代俳句協会副会長  
荒川区芸術文化振興財団理事長



堀田 季何氏  
俳人  
現代俳句協会常務理事  
「楽園」主宰



佐々木 忠利氏  
俳人  
荒川区俳句連盟会長  
荒川区文化総合講座俳句講師

実施概要 選者紹介 …… 1

一般の部

特選(三作品) …… 3

入選(六作品) …… 6

佳作(九作品) …… 9

こどもの部

特選(三作品) …… 13

入選(六作品) …… 16

佳作(九作品) …… 19

課題写真の部

入選(二十作品) …… 22

荒川区俳句のまち宣言 …… 26

## 一般の部 受賞作品

堀田 季何 選  
特 選

路地裏を怪人去りて鳩を吹く



石田道彦

選 評

あやしい雰囲気の魅力の一句。写真に直接は見えぬ怪人を立ち上げた想像力が秀逸である。気配を「鳩吹」という初秋の珍しい季語で受け止め、余韻を残した点も巧みだ。「を」は一つでもよかったか。

対馬 康子 選  
特 選

棘清し浄水場の冬薔薇



西池万葉

選 評

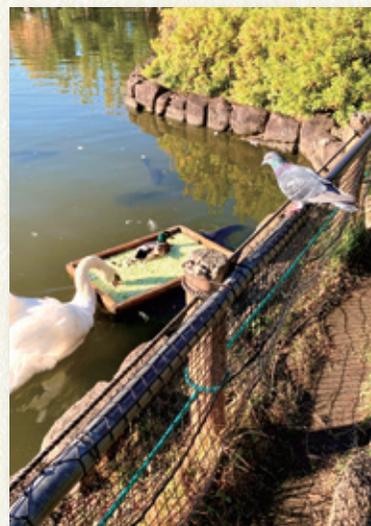
薔薇という華やかな題材に、人の生活を支える浄水場という場所性が響き合う。清冽な冬気のなか、「棘」に焦点を当てたところが一句の核である。「清し」は単なる美称ではなく、拒む強さの透明さを言う。

対馬 康子選

入選

待ち人に都電とことこ日脚伸ぶ

折勝家鴨



小春日の順番待ちの昼餉かな

三田忠彦

佐々木 忠利選

特選

凍晴に句碑の湧き立つ訴求力



田中正博

選評

「凍晴」の澄み切った冬空の下、句碑がまるで熱を帯びて立ち上がる様な描写が見事です。「訴求力」と言う現代的な語が、逆に句碑の存在を際立たせております。湧き立つ様に迫って来ると言う表現が秀逸です。

佐々木 忠利 選

入 選

霜月や人影長き煉瓦塀

田中礼子



道灌の御手の先にも淑気満つ

牧やすこ



堀田 季何 選

入 選

神楽の子しなる手先に神宿る

櫻井祥香



吾輩のねむけ覚ますか初鯉

井深邦



対馬 康子選  
佳作

散り黄葉土の褥に眠けり

幹夫



ふさふさの緑黙して冬囲

大島章吾

一生は静かに流れ冬薔薇

鈴木しおり



堀田 季何選  
佳作

日脚伸び逆再生の声のして

加那屋こあ



狛犬の鼻腔尖らせ冬来る

山本半片



天高く塔も背骨も伸びをする

十六六



佐々木 忠利 選

佳作

盆踊り四海に轟け平和の音

節子



祈願旗に「世界平和」を初詣

高仲絹



木の实降る火消し「れ組」の狛犬に

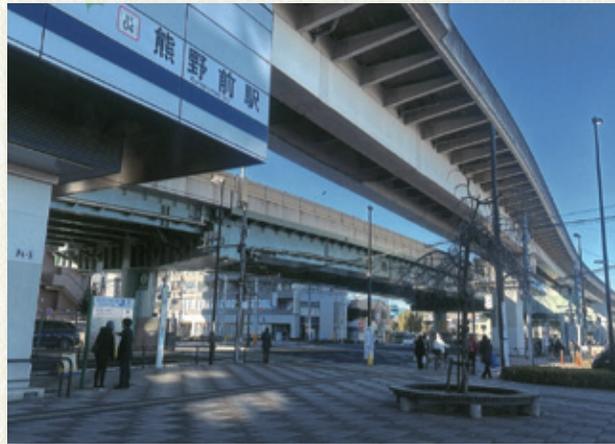
茂木尚美

こどもの部 受賞作品

堀田 季何 選  
特選

このへんに熊はいないが熊野前

荒川区立尾久小学校五年  
伊藤羽雲



選評

熊野前駅の写真から全国的な熊出没のニュースに結びつけた発想がユニークである。やさしい口語調の中に「熊野前」と「熊の前」の掛詞を仕掛けたのが見事。機知と時事性を両立した一句だと思う。

対馬 康子 選  
特選

たいようがくもにかくれてわらってる

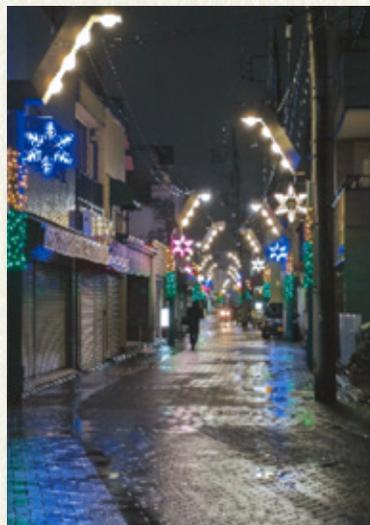
荒川区立第七峡田小学校三年  
濱邊柚那



選評

夕焼け雲に隠れた太陽を「わらってる」と言い切ったところに、この作者の世界の明るさがある。見えないものを悲しみではなく笑顔として受け止める視線が、写真全体をあたたく包む一句となった。

対馬 康子 選  
入 選



帰り道夜空をてらす雪の花

荒川区立尾久小学校五年 都築穂乃実



ただいまあ！オレンジソーダのみたいな

荒川区立第三瑞光小学校四年 五月おいも

佐々木 忠利 選  
特 選



秋晴れに天晴れ！母校100周年

荒川区立第四峡田小学校四年 吉田茉由

選 評

澄み渡る秋空に母校の百年を祝う晴れやかな心が重なり、句全体に清々さが広がり「秋晴れ」と「天晴れ」の語呂と響きも心地良く、祝いの気持ちが真っ直ぐに伝わる佳句。お祝いの場にふさわしい晴れやかな詠みっぷりです。

佐々木 忠利 選  
入 選

初もうでみんなを守る尾久の神

荒川区立尾久小学校五年 坂下太基



初富士と肩をならべて観らん車

荒川区立尾久小学校五年 福本航世



堀田 季何 選  
入 選

走ってる都電の窓に白い風

荒川区立尾久小学校五年 曾我優陽



ありがとうぼくを見守る星たちに

荒川区立尾久小学校五年 橋本粹士



対馬 康子 選  
佳作

桜揺れひかりふりまくあさのいろ

荒川区立尾久小学校五年  
永野珠紗子



八重つぼみねむり深めり冬知れぬ

荒川区立瑞光小学校五年  
実乃里

川みれば空から守る氷だね

荒川区立第七峡田小学校六年  
岩崎泉樹

堀田 季何 選  
佳作

うさぎ小屋お花をそえてまたいつか

荒川区立第七峡田小学校六年  
藤嶋優維



初詣歴史をいらい礼をする

荒川区立尾久小学校五年  
内海円

くものなかちつちやい月だめずらしい

荒川区立第七峡田小学校三年  
そう

冬の朝葉がない木が立っている

荒川区立第七峡田小学校六年  
折田結依



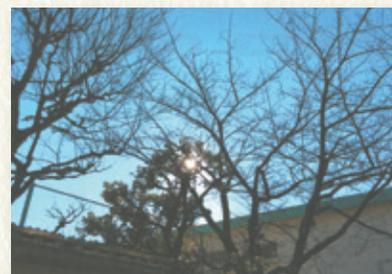
冬の空太陽かがやくビオトープ

荒川区立第七峡田小学校六年  
川上結偉



葉がかれてなんだかさみしいけしきだな

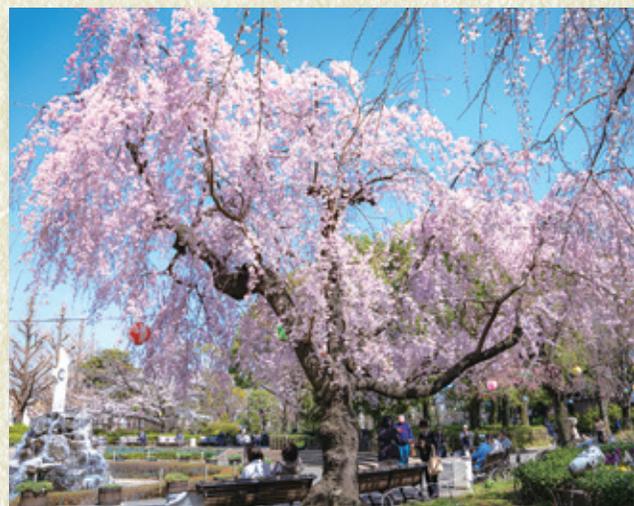
荒川区立第七峡田小学校六年  
松野莉奈



課題写真の部

荒川公園

荒川区役所の正面玄関前に広がる公園です。中央に位置する噴水の周りに人々が集い、春にはソメイヨシノやシダレザクラが咲き誇る人気のお花見スポットになっています。



受賞作品

花万朶きみはここにいていいんだよ

村山恭子

笑笑笑笑笑笑や花

野中泰風

荒川の街をはみ出し桜散る

やーくん

一年の憂いを集め桜咲く

くう

おおらかに受験の子らの背を押して

松本俊彦

## 都電荒川線 三ノ輪橋停留場

早稲田〜三ノ輪橋間を運行する都電荒川線の始発・終着停留場であり、レトロ調なデザインの停留場とハラのコラボ写真がとれる撮影スポットとして人気があります。



### 受賞作品

薔薇めがけ都電が猫のやうに来る

玉木たまね

旅人もセピアに染まる薔薇の駅

上野玲

荒川線初夏の光を纏ひゆく

木村隆夫

折り返し駅の間秋のバラ

川井正弘

傘閉ちて薔薇の夜空となりにつけり

ぐ

## 荒川自然公園

三河島水再生センターの上に人工地盤を造って出来た自然豊かな公園です。秋には紅葉も見られ、散歩やウォーキングを楽しむことができます。



### 受賞作品

ジャズの音が秋の終わりをつづけている

浅野なお子

秋めくや枝と石との秘密基地

ルーキー

バゲットの小道具めいて紅葉散る

英里花

青空を塗りつぶしゆく紅葉かな

二重格子

僕は黄に君は真つ赤に塗る秋ぞ

ひでやん

## 荒川区俳句のまち宣言

### 「行春や鳥啼魚の目は泪」

元禄2年3月 この句を矢立初めの句として  
松尾芭蕉は その生涯をかけ「奥の細道」へと旅立ちました  
芭蕉が渡った千住大橋は 江戸と東北の地を結び  
私たちを 俳句の世界へと いざなう大橋として  
昔も いまも これからも 隅田川に架かります

私たちの暮らすまちには 人々が行き交い  
芭蕉の想いと 四季折々の美しさに導かれ  
子規が 一茶が 山頭火が この地で俳句を詠みました

「五・七・五」17文字の無限に広がる世界の中で  
私たちは 思いを伝える力を持ちます  
新しいものを創りだす力を持ちます  
世界中の人たちと心を結ぶ力を持ちます

荒川区は  
俳句の魅力を次代につなぐ架け橋として  
子どもから大人まで 俳句文化のすそ野をひろげ  
豊かな俳句の心を 未来に伝えることを誓い  
「俳句のまち あらかわ」を宣言します

平成27年3月14日 荒川区

起草委員会委員長 対馬 康子  
委員 金子 兜太  
小池 寛治  
佐々木 忠利  
銭谷 眞美  
西村 我尼吾



あらかわ遊園と夕日  
都内唯一の公営遊園地である「あらかわ遊園」には、  
高さ40mの観覧車があり、天気の良い日には富士山  
が見えることもあります。

## 受賞作品

ふるさとを想へば遠し冬夕焼

今林快波

大夕焼映す平和の観覧車

斉藤寿美子

秋の暮れ真つ赤な嘘を投げ捨てる

江戸川散歩

観覧車天にも届く子規忌かな

尾山まさゆき

暮六つの回転木馬日脚伸ぶ

近江董花